

内航船における水素燃料利用の技術動向等に関する調査

目的

水素燃料船の実証・導入など、将来を見据えた内航海運への代替燃料の活用等に向けた先進的な取組の支援を行っていく必要がある。

このため、内航船における水素燃料利用の技術動向等に関する調査を実施することより、内航カーボンニュートラルの推進に資することを目的とする。

実施内容

1. 水素燃料利用の技術動向の調査
 - (1) 船舶関連の国内動向
 - ① 関係省庁の政策動向
 - ② バンカリング施設等水素燃料の供給動向
 - (2) 国内で現に使える船舶関連の水素技術
 - ① 国内における船舶関連水素技術

2. 貨物船での水素燃料利用コンセプトの検討

結果（貨物船での水素燃料利用コンセプトの検討）

499GT級の貨物船においては、水素タンクの搭載本数がネックになる為、4～6時間程度の航続時間に留まり、主機への水素機器の採用は現状困難と言える。